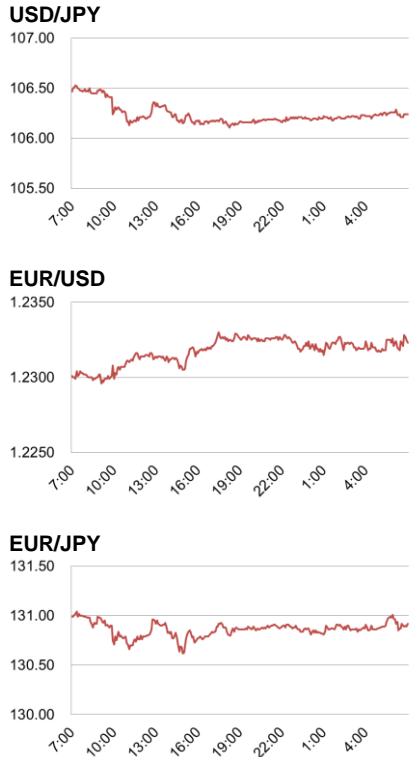


<為替四本値>

Time	CCY	USD/JPY	EUR/USD	GBP/USD	USD/CHF	EUR/JPY
TKY	Open	106.50	1.2302	1.4026	0.9562	131.00
	High	106.51	1.2322	1.4056	0.9562	131.04
	Low	106.12	1.2290	1.4011	0.9526	130.60
	Close	106.19	1.2322	1.4048	0.9526	130.80
LDN	Open			休場		
	High					
	Low					
	Close					
NY	Open	106.20	1.2327	1.4053	0.9533	130.92
	High	106.31	1.2329	1.4058	0.9545	130.97
	Low	106.13	1.2311	1.4011	0.9526	130.83
	Close	106.31	1.2323	1.4011	0.9535	130.97

<為替相場推移>



(出所) Thomson Reuters

<為替相場概況>
ドル円は106円台にて動意に乏しく推移

東京市場のドル円相場は106.50で寄り付いた。早々にドル円は高値106.51を付けたが、公表相場発表にかけて106円台前半まで下落した。その後、日経平均株価が上げ幅を拡大する中でドル円は一時106円台半ばまで反発する場面もみられた。しかし再び106円台前半まで反落すると、以降は同水準での推移が続いた。海外時間に入り安値106.12まで下落する場面もみられたが、イースター休暇で市場参加者が限られる中、その後は同水準で動意に乏しい推移が続いた。結局ドル円は106.31で引けている。なおこの日のドル円の値幅は38銭と総じて狭い値幅での推移となった。

<金利市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	無担保コールO/N	-0.068%	-0.002%
日	ユーロ円金利先物	99.910p	±0.000p
日	円-LIBOR 6ヵ月	休場	-
日	円-TIBOR 6ヵ月	0.12636%	±0.00000%
米	米国FF Rate	休場	-
米	米国TB 3ヵ月	休場	-
米	USD-LIBOR 6ヵ月	休場	-
ユ	EURIBOR 6ヵ月	休場	-
英	GBP-LIBOR 6ヵ月	休場	-
瑞	CHF-LIBOR 6ヵ月	休場	-

<株式市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	日経平均株価 225種	21,454.30円	+295.22円
米	NYダウ工業株 30種	休場	-
米	S&P 500種	休場	-
独	独DAX指数	休場	-
英	英FT指数 100種	休場	-
中	上海総合指数	3,168.896	+8.365
伯	ボブスバ指数	休場	-

<主な経済指標>

地域	イベント	市場予想	今回結果	時刻
日	消費者物価指数(東京都都区部、前年比)	3月 1.3%	1.0%	8:30
日	失業率	2月 2.6%	2.5%	8:30
日	鉱工業生産(前月比)	2月 5.0%	4.1%	8:30
日	住宅着工戸数(万戸)	2月 91.2	92.6	14:00

※「時刻」は東京時間、「市場予想」はBloomberg調査中央値

<債券市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
日	日本国債 2年	-0.133%	+0.004%
日	日本国債 10年	0.049%	+0.009%
日	日本国債先物 10年	150.77円	-0.08円
米	米国債 2年	休場	-
米	米国債 10年	休場	-
独	独国債 2年	休場	-
独	独国債 10年	休場	-
英	英国債 2年	休場	-
英	英国債 10年	休場	-

(出所) Bloomberg

<商品市況>

地域	銘柄名	終値	前日比
米	WTI原油先物	休場	-
米	CMX金先物	休場	-
米	CRB商品先物指数	休場	-

(出所) Bloomberg

<本日発表予定の主な経済指標>

地域	イベント	市場予想	前回結果	時刻
日	日銀短観 第企業製造業業況DI	1Q 25	25	8:50
中	マークイット製造業PMI	3月 51.7	51.6	10:45
米	ISM製造業景気指数	3月 60.0	60.8	23:00
米	建設支出(前月比)	2月 0.4%	0.0%	23:00
英	市場休場	-	-	-
独	市場休場	-	-	-

(出所) Bloomberg

照会先: 三菱UFJ銀行 市場営業部 プロダクツ営業推進Gr

本資料は信頼出来ると思われる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本資料はお客さまへの情報提供のみを目的としたもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。取引に関する決定はお客さまご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。また本資料は当行市場営業部 企画管理グループリサーチライン(グローバルマーケットリサーチ)により実施される調査や同部門の見解を反映するものではありません。